

KOBE AWAY PRESS

We aim to provide a pleasure of watching away game, dreaming the spectacle of away crowd covered in crimson red.

Free!!

#76

WE ARE KOBE

2026.08.22

Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESSはこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESSは関東サポーター有志により自主的に制作されています。



Jリーグが帰ってきた。欧州のフットボールカレンダーに合わせ、秋春制へと生まれ変わった新たなリーグが幕を開ける。

この秋春制への移行が、今後のJリーグや日本サッカー界にどのような影響を与えるかは、これからの戦いの中で明らかになっていくだろう。しかし、「ASIA No.1 CLUB」を掲げてACLを戦う神戸にとって、国内リーグとアジアの戦いの日程が揃うメリットは大きく、これまでに以上に戦いやすくなることは間違いないさぞうだ。

26/27シーズンのヴィッセルは、アジアの頂点を見据え、強力が魅力的な新戦力を次々と補強した。

まずはFWアンデルソン・ロベス。昨季所属したライオンシティ・セラーズFC(シンガポール)では、リーグとカップ戦の2冠達成に貢献した。堂々のJリーグ復帰となるが、やはり我々の記憶に新しいのは横浜F・マリノス時代の躍動だろう。2023年に大迫と得点王を分け合ったあのストライカーの活躍に期待が高まる。

さらに横浜F・マリノスからMF渡辺皓太、千葉のJ1昇格に大きく貢献したDF高橋竜也という強力なサイドバックも獲得。まさに盤石の布陣で、新シーズンのJリーグ、そしてACLEへと挑むこととなる。

変則的な「百年構想リーグ」を駆け抜け、その王者として臨む今シーズン。神戸に求められるのは、名実ともに王者としての戦い方だ。新加入選手たちの躍動に、大いに期待したい。

The J. League is back. Aligned with the European football calendar, the newly revamped fall-to-spring season is set to kick off.

The impact of this transition on the J. League and Japanese football will only become clear as the season unfolds. For Kobe, who will compete in the ACL under the slogan "ASIA No. 1 CLUB," having domestic and Asian fixtures on the same schedule is a major advantage—and should make the campaign even more manageable.

With its sights set firmly on the top of Asia in 26/27, Vissel have made a string of powerful, exciting additions.

First is forward Anderson Lopes. Last season, he starred for Lion City Sailors FC (Singapore), helping them complete a league-and-cup double. Now he returns to the J. League, and memories of his dynamic spell at Yokohama F. Marinos remain fresh. Expectations are high for the striker who shared the scoring title with Osako in 2023.

Kobe have also signed midfielder Watanabe Kota from Yokohama F. Marinos, along with defender Takahashi Issei—a strong fullback who played a key role in Chiba's promotion to J1. With a solid squad in place, Kobe will take on both the J. League and the ACL this season.

This year, Kobe enter the season as champions of the "100 YEAR VISION LEAGUE." Now the challenge is to perform like champions not only in name, but in reality. Anticipation is high for what the new arrivals can bring.

神戸讃歌

俺達のこの街に お前が生まれたあの日
どんなことがあっても 忘れはしない

共に傷つき 共に立ち上がり 美しき港町 俺達は守りたい
これからもずっと 歩いてゆこう 命ある限り 神戸を愛したい
オオオオオ オオオオオオ...



KOBE AWAY MARCH

どこまでも行こうぜ 勝利を信じて
熱き友の想い 胸に宿して
行こう 勝利へ
トモニ戦え ラーララ ララララ!
歌声響かせろ(KOBE!) 遠く神戸まで(KOBE!)
さあみんなで帰ろう 神戸に帰ろう
勝利この手に!

2026-2027年度日程

節		日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
1	アビスパ福岡	8月 8日(土) 19:00	H ベスタ	○ 0-1	13	名古屋グランパス	月 日() :	H ノエスタ	○ -
2	FC東京	8月 15日(土) 19:00	A ノエスタ	○ -	14	浦和レッズ	11月 8日(日) 14:00	A MUFG国立	- -
3	横浜F・マリノス	8月 22日(土) 19:00	H 日産ス	○ -	15	水戸ホーリーホック	11月 日() :	H ノエスタ	- -
天候未定	未定	8月 26日(水) 19:00	A ノエスタ	○ -	16	ジェフユナイテッド市原・千葉	11月 日() :	A ノエスタ	- -
4	セレッソ大阪	8月 29日(土) 19:00	A ヨドコウ	○ -	17	サンフレッチェ広島	12月 6日(日) 14:00	A Eピース	- -
5	東京ヴェルディ	9月 2日(水) 19:00	A 味スタ	○ -	18	清水エスパルス	12月 12日(水) 19:00	H アイスタ	- -
6	V・ファーレン長崎	9月 6日(土) 19:00	H ノエスタ	○ -	19	京都サンガF.C.	月 日() :	A サンガS	- -
7	鹿島アントラーズ	9月 日() :	A ノエスタ	○ -	20	横浜F・マリノス	12月 19日(土) 15:00	H ノエスタ	- -
8	ガンバ大阪	9月 20日(日) 17:00	H パナスタ	○ -	21	川崎フロンターレ	2月 日() :	H ノエスタ	○ -
9	柏レイソル	10月 9日(金) 19:00	H 三協F	○ -	22	セレッソ大阪	2月 日() :	A ハナサカ	○ -
10	ファジアーノ岡山	10月 日() :	A JFEス	○ -	23	水戸ホーリーホック	2月 日() :	H 水戸信ス	○ -
11	川崎フロンターレ	10月 21日(水) 19:00	H 等々力	○ -	24	ファジアーノ岡山	3月 日() :	A ノエスタ	○ -
12	町田ゼルビア	10月 日() :	H ノエスタ	○ -	25	ガンバ大阪	3月 10日(水) :	H ノエスタ	○ -

※印刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!

♪横浜から船に乗って神戸に着いた♪

SNSで「神戸はマリノスから選手を引き抜き過ぎ」という投稿を見かけたので、少し調べてみました。

フリーゲルズ/マリノス/F・マリノス在籍後に神戸へ加入した選手は、以下の16名です(順不同・敬称略。誤りや漏れがあればご指摘ください)。

石末龍治(GK)/高田昌明(DF)/三浦淳宏(MF)/吉田孝行(FW)/神野卓哉(FW)/城彰二(FW)/榎本達也(GK)/マルキーニョス(FW) /渡邊千真(FW)/飯倉大樹(GK)/扇原貴宏(MF)/オビ・パウエル・オビンナ(GK)/永戸勝也(DF)/広瀬 陸斗(DF) /渡辺皓太(MF)/アンデルソン・ロペス(FW)

監督を批判して移籍した選手、監督として3度もチームを率いてくれた選手、現・サッカー協会会長を腕一本で抑え込んでゴールを決めた選手、GKなのに「チャレンジ」と称してアグレッシブに攻撃参加する選手……。

記憶に残る選手はみな個性的であるという、当たり前のようなことに改めて気づかされます。(べ)



シーズン移行は、サポーターの観戦体験にも大きな変革をもたらす。これまでの「夏の暑さとの戦い」から「冬の防寒対策」へと、応援のスタイルが劇的にシフトするのだ。

最大の恩恵は、猛暑下の観戦ストレス軽減と、夏場に多発していた「シーズン途中の主力流出」に伴う虚無感の解消だ。体制が固まった万全の推しクラブを腰を据えて応援できる。また、12月中旬から2月中旬の「ウインターブレイク」は熱い補強論議を楽しむ期間となり、冬のサッカー文化に新たな彩りを加える。(主力流出は夏でも冬でも辛いけれど…)

一方で、ウインターブレイクがあるとはいえ、寒冷地へのアウェイ遠征における積雪や交通トラブルへの配慮は欠かせない。さらに5月のシーズン終盤戦は、GWの熱気と重なり最大のクライマックスを迎えることになる。

現地で愛を叫ぶサポーターにとっても、この秋春制への移行は、世界基準の熱狂と共に新たな観戦スタイルを築く冒険の始まりとなる。(な)



Facebook

<http://www.facebook.com/kobeap>

Blog <http://kobeap.net/>

X @kobeap



KOBE AWAY PRESS編集部では、**試合展望やコラムを書いて頂ける方、写真提供できる方を大募集中**です。少しでもご興味持っていただけましたら、配布している編集部員に直接お声がけいただくか、Facebook/X(旧Twitter)にてご連絡ください。よろしくお願いします。

1 GK 前川 黛也	21 GK 新井 章太	32 GK 城彰二	39 GK 高山 汐生	71 DF 権田 修一
3 DF マテウス・トウレ	4 DF 山川 哲史	15 DF ジェゴ	16 DF カエターノ	24 DF 酒井 高德
31 DF 岩波 拓也	41 DF 永戸 勝也	42 DF 本間 浩司	43 DF 山田 海斗	80 DF ソカ・ボニフェイス
2 MF 飯野 七聖	5 MF 郷家 友太	6 MF 扇原 貴宏	7 MF 井手口 陽介	17 MF 高橋 弐晟
18 MF 井出 遥也	20 MF 渡辺 皓太	23 MF 岩本 悠庵	25 MF 鎌先 祐弥	28 MF 濱崎 健斗
33 MF 橋本 陸斗	38 MF 浦 十藏	44 MF 日高 光揮	51 MF 瀬口 大翔	58 MF 大西 湊太
9 FW アンデルソン・ロペス	10 FW 大迫 勇也	11 FW 武藤 嘉紀	13 FW 佐々木 大樹	26 FW ジェアン・パトリック
29 FW 小松 蓮	35 FW 富永 虹七	46 FW 伊藤 湊太	53 FW 渡辺 隼斗	55 FW 宮原 勇太

✓ KOBE AWAY PRESSからのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESSを他のお友達にすすめたいという方や、自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESSのPDF版ダウンロード、およびKOBE AWAY PRESSに関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。

KOBE AWAY PRESS PDF版ダウンロード

<http://kobeap.net/>

発行: KOBE AWAY PRESS編集部

Facebook <http://www.facebook.com/kobeap>

X (旧Twitter) @kobeap (<https://x.com/kobeap>)



編集後記



お久しぶりの方も、はじめましての方も!『KOBE AWAY PRESS』が帰ってきました。今シーズンは少しペースを上げて紙面をお届けできればと考えています。

シーズン移行によって何が起きるのか、楽しみと不安が交錯する時期ではありますが、皆様のアウェイ観戦ライフの一助になれば幸いです。『KOBE AWAY PRESS』を今シーズンもよろしくお願いいたします!(な)

アウェイゲームの写真提供して下さる方を募集しています。提供して下さる方は各SNSのDMにご連絡ください。

このKOBE AWAY PRESSをSNS等でシェアしてください!